

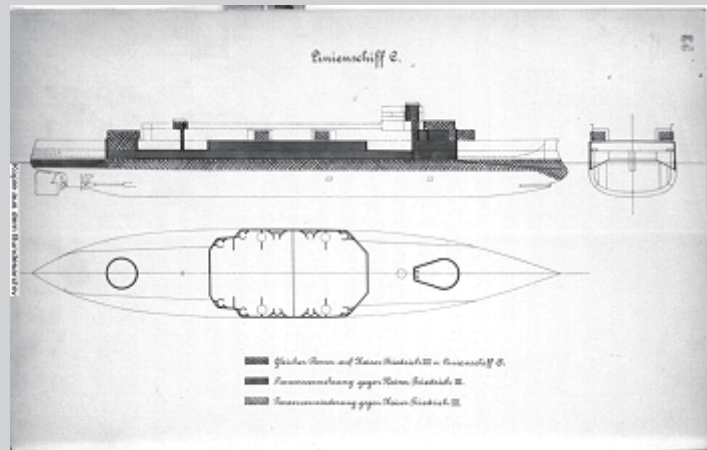
第17回シンポジウム

軍産複合体論をめぐって－日本とドイツ－



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

出典：「駆逐艦の進水」(東京大学柏図書館所蔵『平賀譲文書』より)



出典：Bundesarchiv-Militärarchiv, RM3/6650より

趣旨：19世紀以降、軍隊と工業は密接に関連しながら発展しており、「軍産複合体」という用語によって、様々な角度から分析されてきた。本シンポジウムでは、日本とドイツを事例として、軍需関連産業や技術者が、軍隊や国家と関係性を構築した過程、兵器(特に海軍兵器)や製品の開発・生産技術の発達、それに対する政府や軍部の動向、あるいは自国内外の他の企業との競合など、さまざまな視角から検討する。

日時：2014年3月29日(土) 14:00～17:30

場所：早稲田大学 26号館(大隈記念タワー)3階 302会議室
東京都新宿区西早稲田1-6-1/<http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html>

報告者：

前田充洋(大阪市立大学文学研究科 後期博士課程)

畑野 勇(公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所 研究員)

プログラム：司会/谷口眞子 早稲田大学 文学学術院 准教授

14:00 開会のあいさつ、趣旨説明

14:10 前田充洋 報告

「軍隊と企業の『複合的』関係の形成過程

— ヴィルヘルム二世治世下ドイツの海軍とクルップ社間の交渉分析から —」

14:50 畑野 勇 報告

「戦時体制期日本の『軍産複合体』の膨張とその問題性」

15:30 休憩

15:50 討論

17:30 閉会

主催／早稲田大学高等研究所 共催／「軍隊と社会の歴史」研究会 問合せ／高等研究所



WIAS

早稲田大学高等研究所
Waseda Institute for Advanced Study

入場無料・事前申込不要 直接会場にお越しください。